

いつもお世話になっております。
ネクスト・イットの吉政でございます。

先週、Astaro Security Gatewayのメジャーバージョンアップについての報道発表を行いました。久しぶりのメジャーバージョンアップであり、また仮想環境上で動作する数少ないUTMということもあり、キーマンズネット様、CNET、ZDnet様、朝日新聞様を始めとするメディアに掲載されました。UTMの導入を検討されている方は是非ご注目ください！！

今回のコラムは、低負荷でのバックアップと簡単なリカバリを低コストで実施する最新の方法を簡単にご紹介しています。

少し前のデータになりますが、野村総研様の調査によると、重要なデータをバックアップしている企業は81%しかないそうです。この数値が大きいか少ないかといえば、【重要な】という但し書きがついている企業内のデータとしては非常に少ないと私は思います。バックアップを取っていないということは、万が一の時に情報システムの方が疲弊するだけではなく、会社の信頼問題にもなりかねないと思います。しかし、重要なのは分かっているにもかかわらずバックアップというのは面倒なものであり、できれば、お金も時間もかけたくないというのがお客様の本音だと思います。

そこで、「1TBを超えるシステムを低帯域回線で遠隔バックアップ&リカバリ」についてご紹介をした次第です。また、本件については、1月26日に開催する「低コストで実現する遠隔バックアップ&BCP対策セミナー」で詳細をご説明致しますので、

ご都合がよろしければ、是非、セミナーにもお運びください。

※セミナーの詳細は以下をご覧ください。
<http://nextit.jp/seminar/bcp0126.html>

それでは、今号も宜しく願いいたします！

—目次—

【1】【報道発表関連】

ネクスト・イット、Astaro Security Gateway V.8.100
24時間365日サポート標準バンドル版』を発売開始
～WANリンクバランスのマルチパス/フェイルオーバーの混在使用が可能に～

【2】【セミナー関連】

2011年1月19日開催（無料） ※技術解説あり
[第九回]
仮想環境におけるネットワークセキュリティ検討時の要点解説セミナー

2011年1月26日開催（無料） ※技術解説あり
低コストで実現する遠隔バックアップ&BCP対策セミナー
「低帯域回線で実現する最新バックアップ技術&BCPガイドライン解説」

【3】【戦略コラム】

第八回：1TBを超えるシステムを低帯域回線で遠隔バックアップ&リカバリ

—詳細と解説—

【1】報道発表関連

■ネクスト・イット、Astaro Security Gateway V.8.100
■24時間365日サポート標準バンドル版』を発売開始
■～WANリンクバランスのマルチパス/フェイルオーバーの混在使用が可能に～

(2011年1月13日（木）発表)

報道発表原文：

http://nextit.jp/download/news/PressRelease_NI20110113.pdf

解説：

今回のバージョンアップでAstaro Security GatewayはV.7からV.8にメジャーバージョンアップしました。V.8.100では細かい設定が可能になり、操作性の手軽さは維持しつつ、より玄人好みの設定ができるようになったと思います。ご興味がある方は是非、以下より評価版をお求めください。（吉政忠志）

※評価版の申請は以下よりお願いします。（Virtual Appliance版も貸出可）

<http://nextit.jp/inquiry/trial.html>

<V.8.100の主な機能改良点>

- ・ワイヤレスセキュリティ機能（対応予定）
- ・WANリンクバランスのマルチパス/フェイルオーバーの混在使用
- ・上位HTTPプロキシ機能
- ・nmapサポート
- ・DNSリクエストルーティングの機能が共通機能（EssentialFW）で利用可能
- ・国別ブロッキングでドロップしたパケットのログに“GEOIP”対応

掲載結果：

本報道発表は、キーマンズネット様、CNET、ZDnet様、朝日新聞様を始めとする各種メディアに掲載されました。

キーマンズネット様の掲載結果は以下の通りです。

<http://www.keyman.or.jp/3w/prd/82/20032682/>

【2】セミナーの関連

■仮想環境におけるネットワークセキュリティ検討時の要点解説セミナー

（2011年1月19日開催（無料） ※技術解説あり）

クラウド・コンピューティングは、規模の経済や標準化といったメリットを提供しますが、その反面、セキュリティ上の課題があると言われております。そこでネクスト・イットでは、近年注目を集めているCSAのクラウド・セキュリティ・ガイドラインや経済産業省のBCPガイドラインについて解説を行うとともに、スパム対策で圧倒的な評価を得ている統合型セキュリティゲートウェイ製品である、Astaro Security Gateway（アスタロー セキュリティ ゲートウェイ）のクラウド環境での活用方法とセキュリティ上の注意点及び最新鋭の実践的な技術を解説させていただきます致します。

詳細は⇒ <http://nextit.jp/seminar/astaroVA0119.html>

■低コストで実現する遠隔バックアップ&BCP対策セミナー

（2011年1月26日開催（無料） ※技術解説あり）

昨今話題に上がっているBCP（事業継続計画）の実施については、膨大なコストがかかることから、以前より必要性は感じられていますが、なかなか導入できないお客様多いのが実情です。しかしながら、最新のテクノロジーを搭載したZ-BYS（ジービス）を活用することで低コストでのBCP対策を実現できます。このワークショップではTBを超えるシステムをベストエフォート回線で遠隔バックアップ&BCP対策を低コストで実現した事例と、そのコアテクノロジーを解説します。お忙しい折、恐れ入りますが、是非ご出席賜りますようご案内申し上げます。

詳細は⇒ <http://nextit.jp/seminar/bcp0126.html>

【3】戦略コラム

■【第八回】1TBを超えるシステムを低帯域回線で遠隔バックアップ ページ(2)

バックアップ技術には以下のジレンマがありました。

バックアップのブロック単位を小さくすれば、バックアップ時に転送されるデータ量が小さくなるため、バックアップの容量と必要帯域を最適化（縮小）できます。しかし、ブロック単位を小さくすればするほど、バックアップ時の負荷がかかります。

※分かり易く説明するために上記の表現にて説明しています。

理論的にはバックアップ時の差分ブロックを小さくし、且つバックアップ時の負荷を軽減できれば、バックアップの容量と必要帯域を最適化した現実的なバックアップ&リカバリが可能になります。特に遠隔バックアップ&リカバリ・システム（DR/BCP対策システム）にはこのような技術が求められます。

その技術こそがブロックレベルの差分バックアップになります。

※上記の「ブロックレベル」については、様々な解釈が生まれてきています。最近では、ファイルシステム上のファイルを分割し、差分バックアップすることを「ブロックレベル」と呼んでいるメーカーもあるため、注意が必要です。

差分バックアップ機能は現在、ほとんどのバックアップ・ソリューションで採用されていますが、このコラムの表題である「1TBを超えるシステムを低帯域回線で遠隔バックアップ&リカバリ」を実現するためには、ブロック・サイズと、そのブロック差分を検知する方法が非常に重要になります。

当社の製品「Z-BYS」が採用している技術では、512byteのブロックサイズでスキャンし、本当に変更されたセクタのみレプリケーションします。（世界最小レベル）。さらに、スキャンをしているのがファイルシステム上ではなく、物理ディスク層で行っているため、バックアップ時の負荷が極めて低いのが特長です。

この技術の国内実績としては、24TBのファイルシステム（日時差分量400GB）を東京～仙台間のフレッツ回線2本で東京～仙台間を遠隔バックアップしている実績があります。その他、実績については以下をご覧ください。

阪和興業様
<http://nextit.jp/download/brochure/HanawaCaseA4NI.pdf>

因幡電機産業様
<http://nextit.jp/download/brochure/InabaCaseA4NI.pdf>

また、詳細は1月26日開催のセミナーでも解説しますので、ご都合が宜よろしければ、是非、そちらにもご参加ください。（詳細は前項をご覧ください）

（吉政 忠志）

編 | 集 | 後 | 記 |

最後までお読み頂きありがとうございます。読者の皆さまは弊社のセミナーに参加されたことはありませんでしょうか？お客様がいらっしゃる限り続けよう！ということで始めた月例セミナーもAstaroセミナーは9回目に、Open-Xchangeセミナーは4回目になりました。まだご参加されたことがない方がいらっしゃいましたら是非ご参加ください。それではセミナー会場でお会いできることを楽しみにしております。（吉政）

=====
メール配信元：ネクスト・イット株式会社 「ネクスト・イットNEWS」編集部
発行人：営業推進本部 部長 谷尾 真人
編集人：マーケティングアドバイザー 吉政 忠志
東京都品川区南品川2-4-5NAビル TEL:03-5783-0702 FAX:03-5783-0734
URL:<http://nextit.jp/> MAIL: info@nextit.jp
=====

※今後、弊社からのご案内が不要の場合は、誠に恐れ入りますがこのメールの
ページ(3)

nextit017

返信で『ご案内メール不要』のご連絡をいただきますよう、宜しく願い申し上げます。

===== (C) Next IT Inc., All Rights Reserved ==